

総務常任委員会 視察研修報告

〔期間〕 11月16日～18日

〔目的及び視察地〕

災害対策について

（広島県呉市）

「マイルポはんだ」について

（愛知県半田市）

環境学習センターについて

（愛知県名古屋市中区）

（愛知県名古屋市中区）

広島県呉市では平成30年7月の豪雨災害に対して毎日関係機関と対策会議を開き情報の共有を図り、国や関係機関からの人的、技術的、物的支援を受けながら対応に当たった。また災害ボランティアセンターを設置し、約39,000人のボランティアを受け入れ派遣した。その後、情報伝達の見直し、避難所運営の見直し、学校防災週間の取り組み、応援協定促進などの取り組みにより防災減災の強化を図った。また、自主防災組織の強化にも力を入れてい



▲半田市議会議場にて

る。愛知県半田市「マイルポはんだ」は、アプリを活用したインフラや生活の課題解決のシステムで、市民からの情報提供により行政の目の届かない課題の把握や初動の効率化が図られる。市民からは24時間365日スマートフォンやパソコンで投稿できる。不適切な

投稿については、市で削除することが取り決められている。名古屋市「エコパルなごや」は環境学習センターで、小学生や中学生、環境活動団体や企業などを受け入れており、ワークショップや展示、バーチャルスタジオでわかりやすく楽しく環境について学ぶことができる。

文教厚生常任委員会 視察研修報告

〔期間〕 10月25日～27日

〔目的及び視察地〕

小中学校の体育館の空調設置について

（大阪府箕面市）

あまつ子ステップアップ調査事業について

（兵庫県尼崎市）

尼崎市子ども育ち支援条例について

（兵庫県尼崎市）

大阪府箕面市は、市立小中学校全校（20施設）の体育館、特別教室を含む全教室に平成29年度までに、エアコンの設置を完了された。内容としては小学校にガスヒートポンプエアコンを、また中学校に電気エアコンの設置を含むことだった。一部に、LPガス式のガスヒートポンプエアコンを採用された理由は、過去に大地震の被害を受け、電気も都市ガスもインフラがダメージを被り、復旧にも時間を要した経験から、比較的入手しやすいLPガスをエネルギー源としたエアコンを導入した。導入コストを、ランニングコストも含めシミュレーションで比較した場合に、LPガス方式で8年でペイし、以後メリットが出るとの目算をしたとのことであった。

直近では、大阪北部地震や猛烈な台風時に避難所として使用した際、LPガスによる空調設備が、非常に役立った。兵庫県尼崎市での、「あまつ子ステップアップ調査事業」は、平成30年から始め、5年目の実施だった。学校は児童生徒の学力と学習状況を把握し、各人に応じた指導の充実や学習状況の改善を図る。また、教育委員会は教育施策の成果と課題について検証し改善を図ることで、教育活動に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的として実施された。令和3年度の実施内容としては、小学校全学年の児童に国語と算数の学力調査を実施、中学生については1、2年生に国語、数学、社会、理科、英語の学力調査を実施、同時に全員に生活実態調査を実施された。調査結果については、担任や学校、また教育委員会も色々な角度から分析されたデータを活用しているとのことであった。5年目を迎えるにあたり、色々な課題も見えてきたが、



▲箕面市での行政視察の様子

事業の効果は有効と感じているとのことであった。引き続き、二つ目の「尼崎市子ども育ち支援条例」について、説明を受けた。導入の経緯については、平成17年から、条例の導入の検討が始まり、検討委員会が立ち上げられ、意見書が提出された。その後、「すべての子どもが健やかに育つ社会の実現を目指す」との目的で、平成21年12月にこの条例を制定された。ここに至る背景には、当時の社会環境に、虐待、いじめ、校内暴力、非行、暴走行為など、色々な問題が存在しており、相談も多く寄せられた。現実には、子どもを支援する必要性があったことから条例の制定が求められたとのことだった。

(期間) 10月31日

11月2日

(目的及び視察地)

移住定住について

(福岡県福津市)

(兵庫県朝来市)

企業誘致について

(佐賀県関西・中京事務所)

産業常任委員会は、本年10月31日から11月2日まで、移住定住をテーマとして、福岡県福津市一



▲津屋崎ランチにて (福岡県)

般社団法人、兵庫県朝来市及び佐賀県関西・中京事務所へ行政視察をした。津屋崎では、まちづくり活動の一環として、移住定住のための、移住者がお試し宿泊体験できる宿の運営や地域の方の作ったものを利用した喫茶や朝ごはん会など地域に根差した活動をされていた。朝来市の一番の特徴は、地域の方が移住者の方に対する「あさご暮らし移住サポーター」として、ボランティアで移住者に対するフォローをされていた。これにより移住に関する不安が解消されるようで、行政だけでなく、地域ぐるみで受け入れる体制づくりがされていた。

第35回 芦刈ムツゴロウロードレース大会 (10月30日)



- ◀ 第1走者 堤 克彦
 - 第2走者 満岡 利宏
 - 第3走者 松並 陽一
 - 第4走者 前田 博己
 - 第5走者 泉 万里江
- 完走!!



晴天の中、3年ぶりに開催された。小城市議会議員チームは初出場し、有明海の風を受けながら完走することができた。

議会広報編集特別委員会 視察研修報告

(期間)

11月10日～11日

(目的及び視察地)

議会広報誌の編集・発行について

(佐賀県神埼市議会)

(鹿児島県指宿市議会)

11月10日は、神埼市議会の研修を受けた。神埼市は令和2年9月に新庁舎が開庁され、真新しい中で議会が行われている所。また、小城市とさほど変わらない予算規模や地形的にも山間部や、平坦部がある市。その神埼市議会の議会広報誌についての研修を受けたが、神埼市議会では、「市議会だより」を市民目線で「読みやすく、分かりやすい」を第一に編集し作成されていた。神埼市議会も、他の市町の広報誌を見て、良い所は、議会全議員に諮り、取り入れて行くことを実践されていた。最近では、一



▲神埼市議会にて

般質問をした各議員の二次元コードを「市議会だより」に載せ、市民が議員の質問内容誰でも視聴することができるように、また、一般質問をしている議員の写真を動きのあるものにするなど、広報委員会の要望に議会議員全員が協力している

ことなど、参考になることが多々あった。我々、小城市議会広報編集特別委員会も「議会だより」については、手順を踏みながら少しでも市民の方々が一段と読みやすいよう、編集に努めようと、神埼市議会の研修を終えた。

11月11日は、鹿児島県指宿市議会の研修を受けた。指宿市議会広報特別委員会での「市議会だより」の編集作業について研修を受けた。編集作業に以前より大幅な時間短縮を実践されていた。議会開催期間中に議会だよりに掲載する記事のレイアウトにあわせ、記事や写真を載せ編集していた。提出期限も短い期間にもかかわらず、質問した議員の原稿も委員会へ提出されている。そのような協力のもとに議会だよりが作られていることに感謝を受けた。



▲指宿市議会にて

研修を終えた。